



佐藤金正町政がスタート



みなさん、こんにちは。
川俣町長に就任した佐藤金正です。
大好きなふるさと発展のため
全力で職務に取り組みます！

川俣町長 佐藤金正（さとうかねまさ）
昭和24年1月25日生まれ（68歳）
川俣町羽田出身。福島農蚕高等学校（現
福島明成高等学校）卒。高校卒業後に
農家を継ぎ、平成3年4月に町議会議員
となる（平成15年2月まで3期）。
その後、福島県議会議員を4期務め、
自らの経験をふるさとの復興・発展に
生かすため、今回の川俣町長選挙への
立候補を決意、当選を果たした。



佐藤川俣町長が目指す
ふるさと川俣
の挑戦

① 子育て支援策の強化

川俣町子ども・子育て支援事業計画書
の実現を目指します。「認定こども
園」の設置について早期に具体的な
検討を進めます。



② 医療・介護福祉政策の充実

子どもの医療費無料化
を継続し、国民健康保
険制度の安定的な運営
を図るなど、医療・福
祉の更なる充実に努め
ます。



③ 健康長寿施策の推進

老人クラブ事業など元気な高齢者の活
動を応援します。また一人
住まいの高齢者のための
支援体制強化に努めます。



情熱をもつて誠心誠意

平成29年2月26日の川俣町長選挙におきまして、町民皆様から力強いご支援、ご支持をいただき、川俣町長に選任いただきました。

私は、高校卒業後に家業である農家を継ぎ、地域の高齢化や耕作放棄地の増加に危機感を覚え、現場の声を町政に反映させるために42歳の時に町議会議員となりました。その後、皆様からの熱い想いを受け、福島県議会議員として4期14年を勤めさせていただきました。

今回、町長選に立候補いたしましたのも、長年築き上げてきた私の政治経験を、これまで長きにわたり私を支えてくださった町民の皆様、そしてふるさととの再生のために、最大限生かしたいと考えたためです。

東日本大震災、そして、あの原発事故から6年が経過いたしました。

た。これまで、町は、復興、そして発展を目指し、様々な施策を行ってまいりましたが、未だ自然豊かな、かつての川俣町の姿を取り戻したとは言えません。山木屋地区については、3月31日をもって避難指示の解除がされたものの、地区の皆様の生活に関わる様々な課題が山積しているのが現状であり、一つひとつ問題を解決していかなければなりません。

また、この間、少子高齢化が急激に進行し、福祉や地域社会そのもののあり方が問われており、まさに今この時が、町にとってふるさとを後世に残していくための重要な時期であります。

しかし、このような状況だからこそ、

私たちは前を向いて、様々なことに積極的にチャレンジしていかなくてはなりません。

私は、すべての人が手と手を取り合い、知恵を絞れば、必ず光が見えてくると信じています。一人ひとりの思いを受け止め、果敢にチャレンジしていけば、必ず夢と希望のあるふるさととは実現できます。

情熱を持ち続け、川俣町発展のために一心不乱に働くことを約束し、就任にあたってのごあいさつといたします。

一緒に、新しい川俣町の扉を開きましょう！

川俣町長 佐藤金正

みんなで一緒に頑張りましょう！



④ 未来を担う人づくり

学校、家庭、そして地域社会との連携強化による教育力の向上に取組み、地域の特性を生かした特色ある教育環境の整備を図ります。また、川俣高校の継続と活性化に努め、未来を築く人づくりに尽力します。



⑤ 復興政策の拡充と強化

山木屋地区の皆様が安心して帰還できるよう、国や県と密に連携し、補助制度などを積極的に活用しながら営農再開をはじめ、生活再建・自立に向けた取組みを拡充します。



⑥ 農商工業の持続振興対策

山木屋地区の農地、農業の在り方も含め十分に考慮し、担い手の支援や特色ある産地づくり、6次産業化の進展を目指します。商工業においても、事業者とともに経営課題の解決に取り組みます。



⑦ 観光と交流人口増加

川俣シヤモや川俣シルクを活用した新たな商品開発への取組みなど推進するほか、「道の駅かわまた」の施設改修なども計画的に進めます。

